KODOMO NO SIRO NEWS
こどもの城ニュース

1994・6・15 NO.52
発行／（こどもの城）広報部 ☎03-3797-5666
〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1

【絆（きずな）】 平早 勉の世界

日曜日、教会に詣（もう）でた後は、気分新たに。雨が降ってきても、へっちゃらだい！

（メキシコ・メキシコシティ）

〈家族〉から友だちの〈世界〉へ

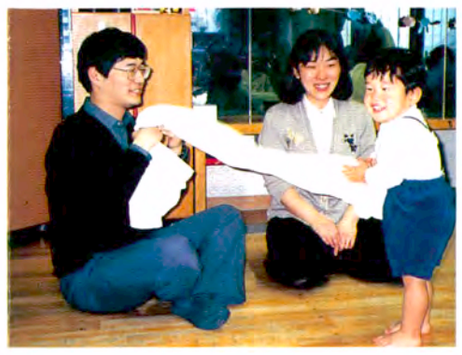
―（こどもの城）保育研究開発部の活動から―

生まれて初めて出会う人――母親。それから、たくさんの人と出会い、＜世界＞を広げていきます。

1～2歳ごろまでは、＜家族＞という限られた＜世界＞の中で安心して暮らしています。成長していくにつれて、同じ年ごろの子どもたちや年齢の異なる子どもたちの輪の中へと＜世界＞は広がっていきます。

今月は（こどもの城）の保育研究開発部の活動から、新しい＜世界＞へ出ていこうとする子どもたちの姿を見てみます。

お父さん、お母さんといるときが一番幸せ。ボクの＜世界＞はボクの＜家族＞。



新しい＜世界＞に、すぐなじめない子どももいます。優しい先生の話を聞いて、楽しそうなことは分かるんだけど……。耳は先生のお話、でも目は遊んでいる友だちの方へ。ひざの上に置かれた指先にも、けなげに努力しているようすがうかがえます。

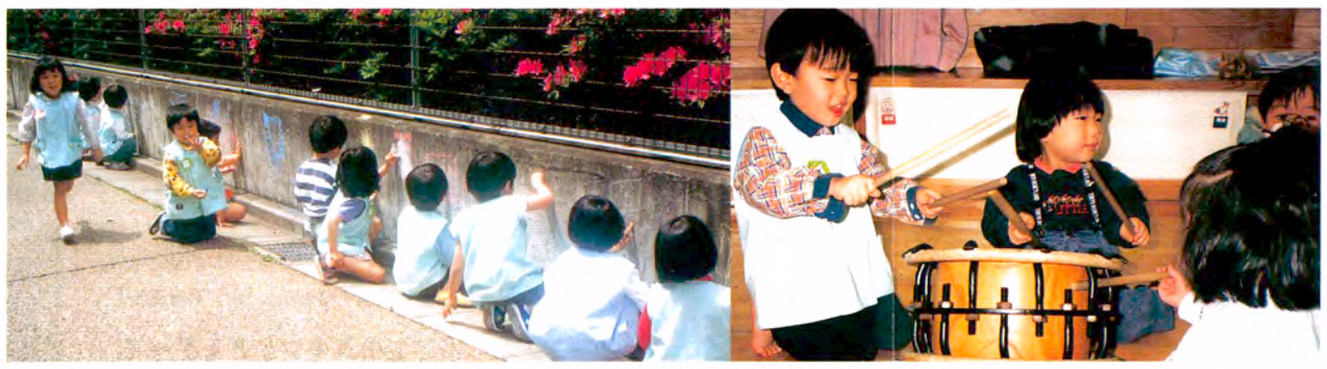
おもちゃで遊んだり、絵本を読んだり――友だち同士で楽しそう。でも、一人では……。お兄さんがそばにいてくれれば、一緒に遊べます。おしりはしっかりひざの上、胸から上は友だちの輪の中に。心の動きが現れています。

友だちと一緒に わくわくする体験を

岡本美智子保育研究開発部長の話

だれか（友だち）と一緒に何かをする、というのは、子どもにとって魅力的なこと。成長していくためには必要なことです。わくわくするような体験をたくさんすることが、豊かで、魅力的な人間に育っていくことになります。

人と出会って、自分らしさを大切にしながら、共鳴していくことが幼児期にはだいじだと考えています。今の時代では、おとながそのような環境を作っていくことが必要です。子どもたちの表情を見ても、安全な＜家族＞に囲まれている時と、友だちの輪の中にいる時とでは違います。同じ笑顔でも、友だちの輪の中では“お兄ちゃん、お姉さん”らしいしっかりとした表情をしています。



やっぱり、友だちと一緒に遊ぶのはおもしろい。子どもだけの、新しい＜世界＞の一員に。顔つきにも、自信と個性が。

特別期間 GW たくさんの人が〈こどもの城〉に

△造形スタジオは“宝島”に変身。『えもじブロック』や『宝島ヒエログリフ』を作りました。

▽お父さんもパソコンに挑戦（パソコンルーム）。

◁『ウーロン大武闘大会』は屋上ふしぎが丘。四か所の修行をクリアして、大武闘大会に挑みました。

▷大関貴ノ浪をゲストに厚生省前でこいのぼり掲揚式。大内厚生大臣も出席。（四月二十八日）

『母子教室の手引』発行

〔こどもの城〕保育研究開発部では、育児や子どもの対応に悩んでいる母親のために、親子遊びや母親同士の話し合いをとおして育児を見直す、講座形式の「母子教室」を開館当初から開催しています。

ここ数年各地の保育関係者からの見学や問い合わせが目立って多くなってきました。そこで、8年間の実践結果を具体的なプログラムを中心にまとめた『母子教室の手引』を作成しました。主な内容は「親子であそぶプログラム」「母親とのスキンシップあそび」「親子別々の活動」など。

詳細は〔こどもの城〕保育研究開発部【☎03-3797-5669】へ。

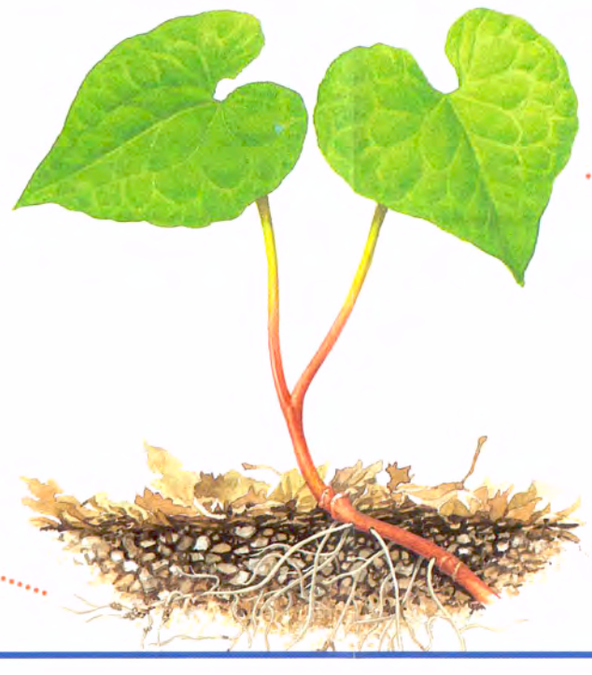
読者の一枚

「最高にしあわせ！」

世田谷区赤堤　寺内紀代美さん

ぼく、寺内千浩です。今年の春2年生になりました。3年前、初めて（こどもの城）に行った時の写真です。ボールのプールにびっくりしました。

見える力も、
見えない力も。



幼稚園入園までの大切なテーマ“生活習慣の定着”と“ことばの発達”。これら目に「見える力」をさまざまな教材で着実に育てていきます。

将来に向けて養いたい“豊かな感受性”や“考える意欲”。すぐには表にでない「見えない力」も、良質の遊び体験でしっかり根づかせます。

すべての人の向上意欲を応援します。福武書店

地中にしっかりと根を張った植物が、地上で青青と葉を茂らせるように。子どもたちも、小さな頃から根づいた力があれば、やがて可能性という名の枝葉をすくすく伸ばしていけると〈進研ゼミ〉は考えます。だから〈進研ゼミおやこ講座〉では、生活習慣や言葉といった、2・3歳の子どもたちに必要な「見える力」とともに、その土台となる「見えない力」――感受性や好奇心もバランス良く育てていきます。それが将来の大きな成長につながると信じるからです。

進研ゼミおやこ講座

6月11～26日　第7回　遊びと造形発想展

「見つける・見たてる・見なおす」

新たな造形発想へのアプローチ

第7回遊びと造形発想展が6月11日から26日まで〔こどもの城〕アトリウム・ギャラリーで開かれています。身近なものを別な目で見なおすと、新たな造形発想へのアプローチが生まれます。今回は「見つける・見たてる・見なおす」をテーマに、作品展示と併せて、子どもたちを対象とするワークショップを行っています。

ふっとしたひょうしに、ある物が別の物に見えたりすることがあります。これを目の錯覚、気のせいで終わらせるのではなく、「見えちゃった」をきっかけに造形を考えていこうというのが、今回のテーマ「見つける・見たてる・見なおす」です。

会場には、遊びと造形発想の会のメンバーと協力者、〔こどもの城〕造形スタジオが指導した児童・生徒・学生の作品が約200点展示されています。「隠し絵」「感字の漢字」「動植物の形態からのファッション造形」など、さまざまな〈発想〉に基づいて造形された作品です。

昨年もたくさんの人が会場に訪れました

「何に見えるかな」のワークショップでは、偶然できた形（紙の切れはし）を選らばせます（見つける）。そしてそれが何に見えるか考え（見たてる）、それに最低限の加工（紙をはりつけたり、色を塗ったり）することによって、形をとらえなおして（見なおす）作品を作ります。

このワークショップで作られた作品も会場に展示され、見るだけでなく、参加する（参加できる）ユニークな催しになっています。

「造形というのは、上手下手ではなくて、おもしろいと思う心なんだよ、というのを感じていってほしい。びんのふた、紙の切れはしなどに、おもしろいものが潜んでいます。身近な素材を見直してほしい」と、遊びと造形発想の会事務局の小笠原登志子多摩美術大学助教授は話しています。

ことばだいすき

波瀬満子（はせみつこ）のことばだいすき

つみきのようにことばを つんでいって どんどん ながくしていくの。ひとつひとつのぶんを ひといきで しゃべると だんだん はやくちになって おもしろいわよ。

つみあげうた

はせ　みつこ　さく

これはコーラのあきかん

これはコーラのあきかん**を**
すてたおとこのこ

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこ**の**
かっていることり

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることり**を**
たべたねこ

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることりを
たべたねこ**をかわいがっている**
ひとりぐらしのおばあさん

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることりを
たべたねこをかわいがっている
ひとりぐらしのおばあさん**のあんだ**
みどりのくつした

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることりを
たべたねこをかわいがっている
ひとりぐらしのおばあさんのあんだ
みどりのくつした**をはいている**
おかっぱのおんなのこ

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることりを
たべたねこをかわいがっている
ひとりぐらしのおばあさんのあんだ
みどりのくつしたをはいている
おかっぱのおんなのこ
のむしばをなおした
きんがんのはいしゃさん

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることりを
たべたねこをかわいがっている
ひとりぐらしのおばあさんのあんだ
みどりのくつしたをはいている
おかっぱのおんなのこ
のむしばをなおした
きんがんのはいしゃさん
のさんぽする
おかのうえのこうえん

これはコーラのあきかんを
すてたおとこのこの
かっていることりを
たべたねこをかわいがっている
ひとりぐらしのおばあさんのあんだ
みどりのくつしたをはいている
おかっぱのおんなのこ
のむしばをなおした
きんがんのはいしゃさん
のさんぽする
おかのうえのこうえん**にさいた**
あかいばら

（波瀬さんはNHK教育テレビ『あいうえお』に“謎のオコソトノ”として出演中。8月23日～26日には青山円形劇場で『波瀬満子のやってきたアラマせんせい』の公演があります）

〈屋外活動〉をテーマに

児童厚生員等実技指導講習会開く

平成6年度第1回の児童厚生員等実技指導講習会が、5月10日から13日までの3泊4日、〔こどもの城〕と神奈川県の観音崎青少年の村を会場に開かれました。参加したのは、全国の児童館などで活動している児童厚生員38人。

今回の講習のテーマは「学校5日制の拠点をめざしてパートII～児童館を中心とした屋外の活用法」。キャンプなどの野外活動ではなく、児童館という施設とその周辺を活用した屋外プログラムについて、東京小中学生センターの柴田俊明館長代理を講師に招いて実習中心の講習を行いました。

「私たち児童厚生員の役割は、子どもたちの自立の過程をサポートすること。さまざまなプログラムをとおして、子どもたちは一つの目的に向かって相談したり、協力したりしていきます。このことが自立につながっていくと思うので、そういうものを大切にしながら講習を進めていきたい」と柴田さん。

雨模様のぐずついた空の下でしたが、「街を徹底的に遊ぶ～ウオークラリーを中心に」「食事を楽しく遊ぶ～作る・食べる・遊ぶ」などの実際を子どもの立場になって体験しながら、それらのプログラムを行う時の基本的な考え方、ポイントについて学びました。

メキシコの
パパローテ子どもミュージアム

レルド館長が〔こどもの城〕訪問

メキシコの「パパローテ子どもミュージアム」館長のマリア・エレーナ・S・デ・レルドさん（**写真中央**）と同館後援会の会長夫妻が、4月22日に〔こどもの城〕を訪れました。

パパローテ子どもミュージアムは、〔こどもの城〕をモデルに建設された施設。4年前に来日したメキシコのサリーナス大統領夫人が〔こどもの城〕を見学、メキシコにも同じような施設をと建設を進めていたものです。昨年11月の開館以来、4か月で70万人の子どもたちが訪れ、大きな成果をあげているそうです。

ゴールデン・ウイーク特別期間中には〔こどもの城〕アトリウム・ギャラリーにパパローテ子どもミュージアムに展示してある民族玩具などの一部を特別に展示しました。

ユースクラブの子どもたちがウオークラリーで好成績

全国一斉ウオークラリー（日本レクリエーション協会主催）に、〔こどもの城〕のユースクラブとL.I.T.（Leader In Training）のメンバーが参加して、好成績を収めました。

雨模様の天気の中、スタートの鉄砲州公園（中央区）で5～6人の班に分かれて、それぞれのコースに挑戦。最高位は、L.I.T.が第1位、ユースクラブは第3位という成績でした。

8月6・7日に〔こどもの城〕保育セミナー

「こども・家族・社会」がテーマ

第8回〔こどもの城〕保育セミナーが「こども・家族・社会」をテーマに、8月6、7日の2日間にわたって、〔こどもの城〕研修室で開催されます。定員150人、受講料10,000円。

家庭と社会の関係について「ぐるみ子育て論」のテーマで、さまざまな角度から検討・論議してきました。今年度からは、これを発展させて、家族支援体制について一つ一つの事柄にスポットをあてていきます。

6日は、基調講演〈対談〉『家族の中のデモクラシー～女性と家族』（菅原眞理子総理府婦人問題担当室長、柏女霊峰元厚生省児童福祉専門官）とワークショップ「こどもの気持ちをくみとる」など5つの分科会。7日は、シンポジウム「伝統的家族イメージからの出発」（司会＝山田美和子全国社会福祉協議会高年福祉部長、シンポジスト＝山崎美貴子明治学院大学教授ほか）が行われます。

〔こどもの城〕保育セミナーの参加申し込み・問い合わせは〔こどもの城〕保育研究開発部【☎03-3797-5669】へ。

カップルがいっぱい

マタニティ・コンサート

妊婦を対象にした第10回〔こどもの城〕マタニティ・コンサートが4月29日と30日に青山円形劇場で開かれました。

会場には、もうすぐパパとママになるカップルがたくさんつめかけ、ソプラノ歌手の柴田智子さん（**写真**）の透き通るような歌声に耳を傾けていました。

演奏の合間に、小児科・産婦人科の専門医から妊娠中の注意と子育てについての話を聞いたり、助産婦から呼吸法の指導を受けたりしました。（Photo by　國田茂）

子どものスキンケアをテーマにアレルギー研修会を開催

お母さんたちを対象とする〔こどもの城〕主催のアレルギー研修会「子どもたちの肌とスキンケア」が5月14日に開かれました。

最近アトピー性皮膚炎に代表される、子どもたちの肌のトラブルがクローズアップされています。今回は、国立小児病院の山本一哉皮膚科医長が、肌のトラブルを防ぐ方法やアトピー性皮膚炎のケアについて講義。肌の清潔、適度なしめり気を保つことの重要性や日焼けの予防、薬物治療、専門医との付き合い方などにつて、スライドをまじえながら話されました。

夏休み集中講座受講生募集中

〔こどもの城〕では夏休み集中講座の受講生を募集しています。学校の関係などで毎週は通えない人も、夏休み期間を利用して〔こどもの城〕の講座に参加してみませんか。

こども集中水泳講習会

5日間の集中的な練習で良い泳法を学びます。小・中学生対象と幼児対象のクラスで、泳力別の班で指導します。

【対象・定員】
○小・中学生コース　小1～中3　各50人
○幼児コース）　4～5歳　各40人
【期間・時間】
○小・中学生コース
Aコース　7月22～24、26・27日
Cコース　8月23～27日
各コースとも　9：30～10：30
○幼児コース
Bコース　7月22～24、26・27日
Dコース　8月23～27日
各コースとも10：30～11：30
【料　　金】7,000円

ガンバ'94

体操が得意でない子どもたちの体操教室。集中的な練習で、基本動作を楽しく体験します。

【対象・定員】小1～小3　30人
【期間・時間】8月23～27日
9：30～10：30
【料　　金】6,000円

夏休み健康教室集中講座〈太りすぎクラス〉

保護者には医学・栄養・運動のレクチャー。子どもたちは楽しく体を動かすプログラムを実施します。

【対象・定員】太りすぎの4～5歳児と親　20組
【期間・時間】8月23～25日
14：30～16：30
【料　　金】10,000円

夏休みこども一日ドック

子どものための総合健康診断。診察・各種検査のほか食生活チェックなども。

【対象・定員】小・中学生　10人
【期間・時間】7月28・29日
12：30～17：00
【料　　金】10,000円

※「**夏休み造形教室～造形宝島**」の詳細は6月下旬に造形スタジオに掲示します。受け付け開始は7月上旬の予定。

友の会だより

〈こどもの城友の会〉の春のファミリーハイキングが、5月22日に行われました。〈友の会〉の会員を対象に、毎年行われているもの。

“グルメなハイキングを楽しむ”

今年は埼玉県の芦ケ久保で、いちご狩りとバーベキューという“グルメ”なハイキング。もちろん、食べるだけでなく、武甲山をながめながら親子で山歩きを楽しみました。

秋には、家族で参加できるファミリーキャンプを行う予定です。〈友の会〉のお問い合わせは〈こどもの城友の会〉事務局【☎03-3979-5666】へ。

ENJOY SPORTS LIFE
エンジョイ・スポーツ・ライフ

青山D·H·C（ダイナミック ヘルス クラブ）

25m5コースのプール、体育室、
マシンジム、サウナ。
日々のストレスの解消をめざして
心と身体のシェープアップ。
アフター・ファイブ気軽にかよえる
青山D·H·C。
ネイティブに健康を考える
あなたのための
キーポイント。

【利用時間】
◆火曜日～土曜日　12:00～13:30
18:00～21:00
◆日・祝日　18:00～20:00
◆月曜日定休日
（祝日・振替休日が月曜日の場合にも原則として活動はありません。）

【個人】
◆入会金：　10,000円
◆会　費：月会費　7,000円
4カ月（一括）　26,000円
1年（一括）　70,000円
◆利用料（1回）：　300円
◆ビジター料金（1回）：　2,000円

●レストラン「ラプニール」
ランチタイム　AM11:30～PM2:00
ディナータイム　PM5:00～PM9:00
●コーヒーラウンジ「アミティーエ」
AM11:00～PM8:00

【特典】
◆会員のこどもの城の入館は無料です。
◆会員の駐車場利用には割引制度があります。
法人会員（無記名、記名）もあります。
詳しくはお問い合わせください。

〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1
TEL 03-3797-5660
こどもの城・体育事業部

こどもの城

青山劇場

●『ミルバ愛の讃歌～シャンソンの女王エディット・ピアフに捧ぐ』
▷6月14日～25日▷S=10,000円／A=8,000円／B=6,000円▷“カンツォーネの女王”から“21世紀に語り継がれるべき大歌手”への道を着実に歩み続けるミルバのコンサート
●少年隊ミュージカル『MOON』
▷7月5日～31日▷全席10,000円
●ミュージカル『ピーターパン』
▷8月4日～11日▷S=7,500円／A=5,500円
●『第9回青山バレエフェスティバル～バレエ・ア・ラ・カルト～』
▷8月13日～14日▷A=7,000円／B=6,000円

青山円形劇場

●遊●機械／全自動シアター
『僕の時間の深呼吸』
▷6月1日～24日▷4,500円▷構成・演出＝白井晃／台本＝高泉淳子
●ラッパ屋『阿呆浪士』
▷7月3日～14日▷3,300円（当日3,500円）
●ロフトアンドシアター
『元気な星からカウントダウン』
▷7月17日～20日▷2,500円（当日2,800円）
●東京演劇アンサンブル公演
『ぼくの鳥あげる』
▷7月22日～27日▷3,090円（当日3,605円、学生・こども2,575円）
●北村真実ダンススペース舞踊公演
『circus circus -in the mirrors-』
▷7月29日～31日▷3,500円（当日4,000円）
●五線譜のなかの動物たち14弾
『バッハの音楽遊園地ザ・カーニバル』
▷8月2日～7日▷2,200円
●第9回〔こどもの城〕キリンファミリー劇場『ぼくのイソップものがたり』
▷8月10日～14日▷2,500円▷脚本・演出＝松本修（MODE）
■ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター【03(3797)1400】まで。

インフォメーション INFORMATION